



水田に写る常陸太田市総合福祉会館
(撮影 根本龍司さん)

水の思い出

～23～
さざめく空

わじわと黒っぽくなっていくのに数日かかり、全体が黒土色に変わったあとびかびかに光る水面が現れる。

長四角に区切られた田んぼが、ひとつまたひとつと色が変わり、そして光る水面に変化していくと、そこだけ空が2倍になっていく。四角く額形の形に切りとられた鏡のような空があちこちに現れ、ほんとうの空とさかさまの空が仲良く向き合っている。

田植えが始まり、苗が大きくなるにしたがって、さかさまの空は隠れてしまうから、二つの空はほんのひとときの景色でしかなく、私は毎日洗濯物を干しながら、向かい合う本当の空とさざめく空を眺め、変わっていく景色を胸の中に留めるように深呼吸をする。

田んぼに人の姿を見かけるようになると同時に、鳥のさえずりがうるさいほど聞こえ始め、水が入るとかえるの大合唱が始まる、田んぼがあつてこそその風景。幼稚園バスの送り迎えの道すがら、毎年出会った大きなかえるは今年もでてきてるかなあ。

(塩原慶子)

里美の滝めぐり

肌に冷たい水しぶき、時に怒涛のようにまた時にせせらぎのように聞こえる滝の音…。水の流れは見るものを穏やかさへといざなうものですが、山間で出会う滝には人を敬虔にさせる何かひそんでいるようです。昨年発行された「里川紀行■滝めぐり」マップとそれにまつわる人の出会いの物語をご紹介します。



生田の出会いの滝



季節によって表情を変える

パンフ掲載の写真はすべて水嶋保さん撮影（4ページ参照）

（パンフの問合せ 里美支所 産業課 ☎0294-82-2111(代)）

ちよっとひといき「番外編」

滝めぐり・山歩きで
お腹がすいたら…

本格石窯で焼くピザ体験



ピザ生地を伸ばしてトッピングするまで一人分なら10分もかかりません。特大の「しゃもじ風板」にのせ窯の入り口で板を動かしてピザを焼いていきます。数十秒でナポリピザの完成。本当の焼きたてピザを味わえます。(800円)

みんなで守る水辺
「根岸のため」
お掃除ボランティア募集



紅・白・黄の3色の蓮の花が咲く「根岸のため」。この時期は日の出の前から写真撮影の人でにぎわいます。(里美中学校そば)

…at 生田の滝…
今年もやります
夏の夜のコンサート企画

昨年初めて、漆黒の山間の夜、滝のせせらぎのそばでコンサートを開催しました。「今年もせひ」との声に現在企画中です。

豆腐作り・蕎麦うち体験や滝めぐりマップを参考にした里美の自然散策など体験メニューは盛りだくさんです。

お問合せ
里美ふれあい館
☎0294-70-7131
(木曜休館)



里美を代表する滝：生田の大滝



別名千本槍：凍結した団子岩滝



横川の下滝（左右とも）



左：塩の草滝、中央：ハッチメの滝、右：釈子の塔滝
形状やいわれからそして地名から名づけられたであろう滝の名前。



左：指又(さすまた)の滝、右：肘曲(へじまがり)の滝。名前のない滝も多く、上の2つは水嶋さんが命名



滝めぐりの道案内の助けとなる看板は佐藤善昭さんの手作り。看板によって景観が乱されないよう配慮されていますが、一文字一文字輪郭を手彫りし、さらに色を塗って丁寧に仕上げられています。来訪者のために藪の下刈りはもちろん、蛇に驚かれないよう駆除まで！



道案内がてら倒木の片づけをしてくださる人

滝に出合った人たちの感動がマップという形になり、それがさらに滝に魅せられた人を呼び寄せている、その輪の広がり驚かされました。滝という自然の美しさはこのような人たちの地道な善意によって守られていることを改めて感じました、そしてただ美しいと眺めるだけでなく、さらに一歩行動を起こすことによって、人の心の美しさをも見つけることができる…。そのような美しい心の持ち主が住むまちが、「ふるさと」と呼べるのだと思いました。
(塩原慶子)



水嶋 保さん — 滝を撮る人

(水戸市在住)

「山に降りそそいだ雨が集まって水の流れとなるように、滝を想う気持ちが集まってさまざまな方たちとの出会いが生まれ、そのすばらしさに感謝しています。」長く滝の写真を撮り続け、その写真の美しさが人を動かしてきました。水嶋保さんが写したのは、美しい自然とそれを守る人の心の美しさだったのでしょう。



滝に惹かれたのは？

10年ぐらい前からです。私は生まれは新潟で山岳会に入っていて、冬山を登ったり越後の山歩きなどずいぶんいたしました。その後、仕事の都合で45年に水戸に来まして、仕事が忙しく山どころではなくなってしまいましたね。定年を迎えて山へ復活したというわけです。ある年の正月に大子の生瀬富士に登って眼下の風景を見て息を飲む思いがしました。それから新緑や紅葉の季節、そして凍結した滝などを季節折々に登っては眺めているうちに滝に惹かれていきました。

写真も写すことは写していましたが、仕事で工事の完成写真などばかりでして…。定年後山歩きをしている仲間と山岳写真のクラブをつくり、そのクラブに入って山の写真を習い始めました。習っていた先生に展覧会への出品を勧められて、それが高齢者美術展の奨励賞をいただいたりしました。すべて定年後に始めたことです。

難しくありませんか？

竹内敏信さんという写真家によると「カメラというのは滝のためにある」そうです。水が流れ、滝となる瞬間の美しさは写真でこそ表現できるものなのだそうです。毎日天気予報に耳を澄まして、県北で大雨となったら水量が豊富な写真が撮れるかもしれないと出かけたります。晴天の日ではなく、風に雲が時折流されてきて陽がかげる瞬間のあるような日が写真にはありがたいのです。

滝の水の流れのように

図書館などで滝の所在を調べ、地図を頼りに出かけますと、その土地の人が気さくに声をかけてくださいます。滝を探しているといいますと、道案内をしてくださったり、もっと奥にいくつか滝があると教えてくださったり。滝の名前を調べて後から連絡を下さったり…。ある時は道案内をして下さるばかりか、溪流の倒木を自ら片付けてくださったり、その身のこなしの軽やかさにも驚かされまし

た。またある方は、道案内や滝の名前の看板を手作りしてくださいました。手彫りで文字の輪郭彫った上に色を塗る丁寧なつくりが気持ちが込められていますね。滝を見に来る人が増えるだろうと、道筋の草刈をなさったりマムシなどの蛇を駆除することもなさったそうです。そういうかたがたと出会えるのがうれしいです。



左：滝歩きの注意点
中：いばらきの滝
右：常陸太田の滝一覧表
いずれも水嶋さんがまとめられた手書きの資料。

常陸太田の滝めぐり展示会

期間 7月16日(土)～24日(日)
時間 10:00～17:00(24日は15:00まで)
会場 生涯学習センター

16、19、21日以外は水嶋さんが来場しています。

写真を撮りに行くときは20kgぐらいの荷物を背負って出かけられるそうなのですが、「写真を片付けに2階に上がるのは億劫」なのだど笑っておっしゃってました。きちんと整理された資料や写真、探究心いっぱいさらには研究の輪を広げようとなさっている水嶋さん。お話を聞きながら「美德」という言葉を思い浮かべました。〔塩原慶子〕

学び舎から

「やるぞ!!」「できるぞ!!!」

常陸太田市立賀美小学校

「本読み◎だ」「算数プリント5枚もやったよ」
火曜日の午後は、全学年が「音読力・算数力アップ」に取り組んでいます。2人の先生に一週間練習してきた音読の成果を発表したり、算数プリントの分からないところを教えてもらったりしています。
「やるぞ!!」「できるぞ!!!」と何事にもあきらめないでがんばる、元気いっぱいの賀美小学校の子ども達です。



「先生ー、〇〇くんができたよー」「できたー」と出張に向かう先生の車に走りよる子ども達。周りにいた子ども達も大喜び。もちろん先生はそれ以上。
本校では、『逆上がり』がだれもできるようにしようとして取り組んでいます。休み時間になると手に豆をつくった子ども達が集まってきます。ポイントは、コツを知り、手伝ってもらってコツを体感すること。そして、自分の力でできること。今日も、鉄棒の周りには子ども達でいっぱいです。



子育て奮闘記

踊るママパラダイス ②④

外遊びが楽しい季節になりました。田んぼに水が張られ、おたまじゃくしがみられるようになると、子ども達はワクワクするでしょう。自分にもそれをリアルに思い出すことができる楽しい思い出がたくさんあります。今でこそ東京のベッドタウンになった県南の街ですが、少し奥に行くと秘密基地にできるような森があったり、夏には網を持ってザリガニを取りに行った用水路がありました。その用水路で泳ぐ蛇に石を投げ鎌首をあげて追いかけられた記憶。「早く帰ってこい。」毎日のように言われながら、それでもちよっと寄り道して野いちごのある原っぱで過ごした放課後。けっ飛ばすとカブトムシが落ちてくるくぬぎの木。どれもこれも懐かしく心がぶんわりする思い出です。

さあ、子ども達、お外で冒険してらっしゃい！楽しい物がたくさんあるよ！と、言いたいところですが、今時はそうとばかり言えないのが現状です。学校で配ってくれた防犯ブザーを見たとき、「ああ、助かるわ。」と喜んだ私。たとえ知っている人でも車に乗せてあげると言われても断るようには教えている私。学校の終わる時間と帰りの道の所要時間を足し算する私。下校時間に犬の散歩をする人が増えたのは同じ事を感じてくれる人がいてくれるのでしょう。冒険しておいて、と素直には言えないです。

今時の子どもは外遊びをしないと嘆くけれど、よからぬ大人が増えた今、ちょっと仕方がない気がします。

常陸太田が大きくなりました。すごく冒険にぴったりの良いところが増えました。そういう所でのびのびと育つ子どもは、きっと大人になってこの土地を離れても太田を思いだしたとき、笑顔が浮かぶ大人になれると思います。それを作ってあげられるのは、私たち大人なのだと思います。『今の子は』と言う前に、『今の大人は』と、言うてみる、そういうことも大切なのかなと、時々考えます。

— わいわいネット 織田裕子 —

打ち水は日本の風物詩です

<p>干物</p>	<p>参考資料1 ひからびたメシカ</p>
<p>参考資料2 カラのバケツ</p>	
<p>お母ちゃん…</p>	<p>参考資料3 メシカをつかまえた私・当時10才</p>
<p>まちがったザマス</p>	<p>道にまいたね!!</p>



じゅうらんにしょう

せいらんかい

従藍而青一太田青藍会

優秀指導顧問表彰 岡部敏治さん

■太田青藍会は昭和51年発足、「剣道も書道も勉強も人間形成のためのもの。基礎、基本をしっかり学び大きく成長して欲しい」との願いのもと、28年間心身共に健全な子どもたちの育成に力を発揮してきました。「従藍而青～青は藍より出でて、しかも藍よりも青し」が命名の由来です。

■昭和63年、ご自宅内に教室を作り、小・中・高校生を対象とした学習塾を開いています。教材はすべてご自分でオリジナルなものをつくりその子にあった個別指導が好評です。また、塾以外の子どもたちの相談にも気軽に応じ多くの子どもたちと接してきた実績から講演を依頼されることも多くなってきたそうです。「学校にすべてを任せるのは間違い。学校には限界がある。個性や自主性の尊重は大切だが、その前に家庭で最低限の社会生活のルールを教えなく

ては…。家庭と学校の協働で子どもたちは成長するのです」、この話題になると熱が入り、経験に裏打ちされた言葉は真に迫るものがあります。

■「自分の人相、容貌からいうと和太鼓のイメージなのですが」と話されますが、趣味の分野ではれっきとしたバンドのドラマー。竹刀

をスティックに持ち替えて、60年代ご

ろのベンチャーズナンバーを得意として

いる「リバティーファイブ」のドラマーとしても活躍しています。他にも書道の師範位をお持ちで現在母校太田一高の剣道部OBの名札約500枚を製作中です。

■このたび全日本剣道道場連盟・日本剣道少年団から優秀指導顧問として表彰されました。「全国表彰は常陸太田で初めて」と周囲の方たちが



全日本少年剣道練成大会出場を果たしたメンバーたち

喜んでくださる一方、「自分の他にもっと優秀な先生がたくさんおられるのに、『何で自分が?』と正直戸惑っています」とおっしゃる岡部さん。きびしい県予選を勝ち抜いて全日本少年剣道練成大会に小・中学生の部門でダブル出場権を得た子どもたちのがんばりのほうを熱くお話くださいました。

塾の子どもたちには「熊さん」の愛称でおなじみなのだそうですが、剣道で鍛えた姿勢のよさや、相対した時に真正面を見つめながらお話になる様子が西郷隆盛さんを髣髴(ほうふつ)とさせます。一度、紺の着物を着て柴犬を連れた写真を撮らせていただきたいと思っていますが、先生いかがでしょう? 【萩谷浩司】



昨年の介護研修

今年は中高生と50歳以上の皆さんとで仲良く学ぼう

介護技術を身につけよう!

毎年受講者に好評の、ホームヘルパー養成研修3級課程講習会が夏休みや土曜・祝日に開催されます。講座修了者には県知事名で証明書が交付されます。例年、中学生と50歳以上の方を対象にしていますが、今年からは高校生も対象となりました。

1. 募集期間 平成17年6月13日(月)～7月1日(金)
2. 参加費 4000円(教科書・保険代)
3. 開催場所・期間
里美保健センター 7月26日(火)～8月29日(月)までの12日間
総合福祉会館 9月17日(土)～11月26日(土)までの12日間
4. 募集人員 各会場40名
5. 問合せ 常陸太田市社会福祉協議会 ☎0294-73-1717



私の宝物

treasure

「幸せな机」

板谷 紀子さん(大中町)

最近机が安くなってきました。5年くらい前は確か7万円くらいからでしたが、ここ何年かは4、5万円でかなりしっかりした机が買えるようです。

実家の片隅にひっそり眠っていた机は、今度小学校に入学する板谷 琉生君(5才)のものになる予定です。シンプルな木製の机は、ずっとお母さんの紀子さんが高校を卒業するまで愛用していた机だったそうです。

その当時は蛍光灯や本棚が一体となった学習机が流行っていました。でも不思議とほしがらなかったそうです。この机は紀子さんが小学校に上がる時に大好きだったおじいちゃんに作ってもらったそうです。

その当時、おじいちゃんは建具屋さんをしていたので、今でもかなりしっかりした机です。あまり喋らず、お酒が大好きだったそうです。机のカドに紀子さんが彫刻刀で彫った『おじいちゃんのかたみ』という文字は、単に机の存在を越えて琉生君の記憶にきっと引き継がれるでしょう。

学習机だけでなく物は今たくさん溢れています。お金を出せば便利な物が買える時代になりすぎたような…。

幸せなおじいちゃんの机、琉生君、大切に使ってくださいネ。

(沼田高宏)



お母さんが大好きだったアイドル

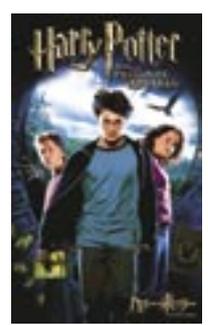
映画を 観たいこう **ウィークエンドシネマランド** 350インチ大画面ハイビジョン映画館にみんな集まれ ところ：生涯学習センターふれあいホール 入場無料(入場券が必要です)

ハリリー・ポッターとアズガバンの囚人(上映時間 142分)

上映日時 7月23日(土)

①9:30~(吹替)、②13:30~(吹替)、③18:30~(字幕)
(③の上映に限り、小学生以下は保護者同伴以外、入場できません。)

両親と死別し、親戚の家で使用人のように暮らすハリリーのところに届いた魔法学校からの手紙で始まったハリリー・ポッターの映画も、3作目となりました。今回は、ハリリーの父親、ジェームズ・ポッターの友人たちが登場します。写真でしか父親を知らないハリリーに、その友人たちは「魔法学校時代は君のお父さんと一緒に勉強した」「君はお父さんにそっくりだ」などと言います。そんなときに見せるハリリーの表情はとても印象的です。(萩谷明美)



(c) 2004 Warner Bros. Ent. Harry Potter characters, names and related indicia are trademarks of and (c) Warner Bros. Ent. All Rights Reserved. Harry Potter Publishing Rights (c) J.K. Rowling

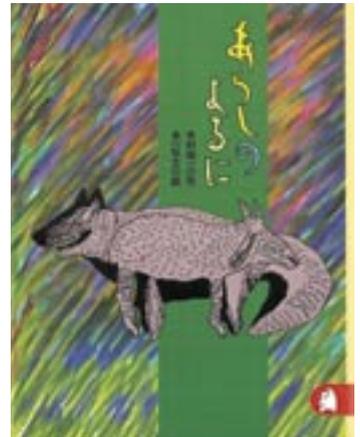
8月20日(土)	18:30	ファインディングニモ(吹替)
9月17日(土)	①9:30 ②18:30	トロイ(字幕)
10月15日(土)	9:30	天国と地獄
11月19日(土)	9:30	①キートンの線路工夫 ②ますらを派出夫会

今年のウィークエンドシネマランドは、さまざまな企画が盛りだくさんです。1日に3回上映があったり、7・8・9月には夜の上映を行います。また、昨年以上に話題作がラインナップされていますので、劇場で見逃してしまった方はぜひもう一度、スクリーンでお楽しみください。(山田秀樹)

リレー
エッセイ 「思い出の絵本」 ~24~

(天神林町 えんしょういわ ゆうこ 焔硝岩 裕子)

その絵本との出会いは文字ではなく、朗読の声でした。それはいつものあわただしい朝のこと。寝ぼけまなこの息子達を起し、朝食の用意をしているとき、時計代わりにつけているテレビからでした。俳優やタレントが絵本を朗読する番組で、大人ながらも毎回息子達と楽しみにしていました。「あらしのよるに」シリーズは歌舞伎役者の中村獅童さんが朗読をしていました。一人でオオカミのガブとヤギのメイ、まったく違ったキャラクターを声だけで演じる中村獅童さんの朗読に息子達と私は一瞬にしてとりこになってしまったのです。早速絵本を購入しました。ガブとメイのあのあらしのよるに始まった友情が育まれていく過程に幾度ともなく襲い掛かる困難。息子達とともにドキドキ、わくわくしながら読んでいます。時にはガブとメイの言葉に涙し、ガブのなんとも味のある言葉に頷きながら読んでいます。こんなにも続きが読みたくなる、しかも次の展開がよめない絵本は初めてです。ガブの言葉で「あしたなんて、だれにも わからないでやんす。でも、おいらたちは いま いきてる。いっぱい いっぱい、まえにすすんでいる。それだけでじゅうぶんなんじゃ ないっすか。」とあります。毎日を一步一步着実に歩いていくことの大切さを感じました。今回のこの絵本は思い出の絵本というよりは、息子達と私のこれから思い出になる絵本というべきでしょうか。きっと素敵な思い出を残してくれると思います。



(次回は 新宿町 高木女久美さん)

ホッ

とひといき

ダビドサナエ



ダビドサナエ (サナエトンボ科)

大層な名前ではあるが、200種ほど分布している日本のトンボの中で、割と個体数の多いトンボである。

名前は仏人収集家の名に由来する。

「とんぼ」の語源は「飛穂(とぼ)」「飛ぶ棒」など諸説あるが、すいすいと滑らかに飛ぶイメージなのだろう。

写真のトンボはまだ若く、新緑の山はその複眼にどのように映っているのだろうか。

(關 隆尚)

ちよつとひといき

パンの店 ころろ



営業日：金・土・日 営業時間：午前10時から
大中町3486-2 ☎82-3375

かかし祭りで有名な、里美ふれあい館近くの南側にお店があります。「白神山の腐葉土の中から純粋培養した製パン用天然酵母菌(白神こだま酵母)と国産小麦を100%使用して作っているんです。」とオーナーのこだわりが感じられます。もちっとした食感のオレンジパンを始め、きのこ・くるみ・メロンパン・あんぱんなど10種類以上のパンを焼いていて、焼き上がるたびにお店中こぼしい香りが広がります。アウトホームな店内には、椅子とテーブルがありパンが焼き上がるのを待っているお客さんもいます。お天気の良い日には、外のベンチでのんびりするのもいいでしょう。(相原早苗)

編集
後記

フオンズ24号をお届けします。里美の滝めぐりはいかがでしたか?茨城で滝といえば雄大な袋田の滝を思い浮かべますが、里川の小さな滝も素敵ですよ。フオンズもメジャーな情報誌に負けない地域に密接した素敵な情報誌にしようとして努力しています。皆様からお寄せいただく情報・お問い合わせを参考に取材をして、お寄せいただく感想・応援を取材・編集のエネルギーにしています。これからも皆様に喜んでいただける誌面作りに励みますので、よろしくお願い申し上げます。(I)

レポーター募集

フオンズでは、地域の話題や情報、ちよつといい話、おいしいものなどを取材していただけるレポーターを募集しています。どしどしご応募ください。

【応募先・問い合わせ先】

常陸太田市フオンズ・ネットワーク事務局
〒313-0061 常陸太田市中城町3280番地
常陸太田市生涯学習センター内
TEL 72-8888 FAX 72-8880